国際 教養大学・中嶋嶺 雄学長に

する人材も必要だ。日本の将来を担う若者が希 材が求められている。 意欲的に学ぶ環境をどう整えるかが 地域の発展に貢献

グローバル化が進む中、

国際的に活躍する人

期待される人材とは、 市)の中嶋領雄理事長・学長―松本市出身―に 社会に課せられている。 (聞き手・宮沢美恵子) 国際教養大学(秋田

はますます立ち遅れる。

間

ーグローバル化時代にふさ

指向だ」という意見があるが 現代の若者たちを見て何

る。彼らは皆、感受性が豊かだ。 任といえる。 に入ったり、学ぶために留学 若者もいる。 私は必ずしもそのようには感 られないのは、社会全体の資 者が伸びる条件、環境を与え も反映しているのだろう。若 いる結果で、 に出ていったりする学生もい ンティアに積極的に参加する じない。東日本大震災のボラ 内向きというなら、それ 日本の国全体が萎縮して それが、若者に 青年海外協力隊 環境や教育の仕

個性やコミュニケーショ

る人材を育てたい 1991年にソ連崩壊があ なぜ国際的に活躍する人

考えていいだろう。それによ 年を、グローバル化の起点と 化が進んだ。ソ連が崩壊したンの壁崩壊があり東欧の民主 る東西冷戦の終結に加えて、 ソ連が崩壊した

んでいる。 ーバル化の大きな要因となっ 世界が国家・国境を越えて

切だ。世界とコミュニケーシ

ノ能力を身に付けることが

国際的に活躍する人は豊

ョンをとるのは圧倒的に英語

界だ。グローバル化にもいろ いろなマイナスの側面があ てはいかれない相互依存の世 一体となるグローバル化が進 日本だけでは生き

> 本の大学がグローバル化に対 は欠かせない。それなのに日 なので、英語による発信受信

心しようという構えが全くて

そのために必要な教育の な個性と、コミュニケーショ わしい人材とは。

部分がおろそかになり、 だけ。教育の 慮が足りない に生徒の個性を伸ばすかに配 教育は先生が一方的に教える ン能力はどのように育てたら 教育が重要になる。日本の

コーバル化へ対応急務

ルの能力を身に付ける体験を 小学校3~4年生くらいか ッションし、 いろいろなレベ 双方向の授業を

れているが。 得られるだけではなく、 と強い個性を持ってほしい。 きる子供に育てなくてはなら 教養教育は広い分野の知識を 養教育に力を入れるべきだ。 大学は知識と人格を養う教 一英語は小学校でも指導さ 高校生は自らの主体性 自分で考え行動で

き仕事ができる人は0・1% 満足にコミュニケーションで を習っても使えない。 心の英語教育で、 にも満たない。 大学生が卒業するが、 幼児のうちから英語に親し 全国で毎年、 ~2年生は特別 日本は文法中 4年生は異 10年間英語 英語で

学教育では発信力を培う。こ 見直すときがきている。 れまでの英語教育を抜本的に 地域を担う人材も必要で

らうー。地域の変革の先頭に 信して多くの外国人に来てか の特色や問題点を探り、 両軸だ。例えば、 立ち、地域の活性化に貢献す 的価値を見いだし、 地域貢献はグローバル化や 松本の祭り

世界的な視野で価値あるもの 会など「楽都」としても注目 校など知的遺産がある。 る若者力が必要となる。 を集めている。貴重な財産を キ・メソードの才能教育研究 ル松本、全世界に広がるスプ トウ・キネン・フェスティバ には旧開智学校、 信州は自然に恵まれ、

思う。その環境はかなり整 応する大学ができるとい

べきだ。こうして中学、 は教科としてきちんと教える